

□テーマ「震災の教訓から防災教育へ」

毎日新聞大阪本社阪神支局、中尾卓英

【メインテーマ】

地震、津波、ハリケーンや台風…。近年、国内外で災害が相次いでいる。近い将来、東南海・南海地震や首都圏直下型地震などの危険性も指摘されている。

古里、神戸を襲った阪神大震災以降、2000年の北海道・有珠山噴火災害、02年の新潟県中越地震、04年暮れのスマトラ島沖地震など多くの被災地で取材。災害で真っ先に被害を受けるのは体の不自由なお年寄り、心身にハンディキャップを負った障害者、そして子どもたちだ。

阪神大震災の教訓の一つ、住宅耐震化。震災直接死者（約5500人）のうち9割近くは住宅倒壊による圧死・窒息死だった。一方、3万人近くの人々が、消防や自衛隊ではなく、近隣住民の手で倒壊住宅から救い出された。事前に備えることで被害を減らす「減災」の視点。家族、地域などコミュニティーのつながりと、防災教育の大切さ。「災害を防ぐことは出来ないが、備えることで被害を減らすことは出来る」

マザー・テレサは「愛の反対は無関心」と言った。震災後、「他者の痛みに共感、共有し、困っている人に何が必要かを想像できる」KOBЕの人々は私の財産になった。災害の教訓を次代を担う子どもたちに伝えるため何が出来るか。読者と共に考え、歩き、つむいでゆく「報道」の形を、受講生のみなさんと一緒に考えたい。

【講義概要】

①阪神大震災直後の経験 「何も出来なかった」一人の新聞記者

②仮設住宅の孤独死から

200人に達した孤独死。被災者の思いを報道し行政に届ける、「被災者生活再建支援法」のキャンペーン報道。

③「震災モニュメントマップ」

阪神大震災被災地の学校、公園などに建立された250を超える慰霊碑などのモニュメント。その由来を訪ねマップを作成。震災遺族と共に歩く。

④「笑顔のお返しプロジェクト」

北海道有珠、東京都三宅島の噴火災害被災地の子どもたちを神戸に招いて、震災疎開

を経験した神戸の子どもたちの家でホームステイと交流。

⑤「ワールド・フットボール・デー」

02年、サッカー・ワールドカップ（W杯）を機に、アフガニスタンの難民キャンプに661個のサッカーボールを集めて贈った神戸の子どもたち。UNICEFとFIFAの尽力で、世界20カ国で平和の中で子どもたちがサッカーを楽しむ「ワールド・フットボール・デー」を開催。

⑥「世界子ども救援キャンペーン」と出前授業の試み

毎日新聞が四半世紀にわたって続けているキャンペーン報道。04年末のインド洋大津波の被災地・スリランカ取材。帰国後、約20の小中学校で出前授業。

⑦「ぼうさい甲子園」

05年1月から、全国の小中高生が地域学習や総合学習の時間で実践する防災教育の取り組みを集めて、神戸市で発表会を開催。子どもたちの自由な発想が大人を動かす。「これ以上、災害による死者を出さない社会をつくるために」。

MAINICHI 新毎日 夕刊

飯島病院 NEWSLINE

Table with 4 columns: 大, 東, 京, 山. Rows include 山陽, 山崎, etc.

Table with 4 columns: 大, 東, 京, 山. Rows include 山陽, 山崎, etc.

むずびりなぐ希望の灯り

神戸市震災復興推進協議会が神戸市公共施設等において、希望の灯り...

震災復興推進協議会が神戸市公共施設等において、希望の灯り...

阪神大震災から5年 機に



神戸にモニュメント建立



支え合った思いを形に 神戸市震災復興推進協議会が神戸市公共施設等において...

ローソン株 三井物産10%売却

個人ローンにも進出 東京三菱銀行が資本参加

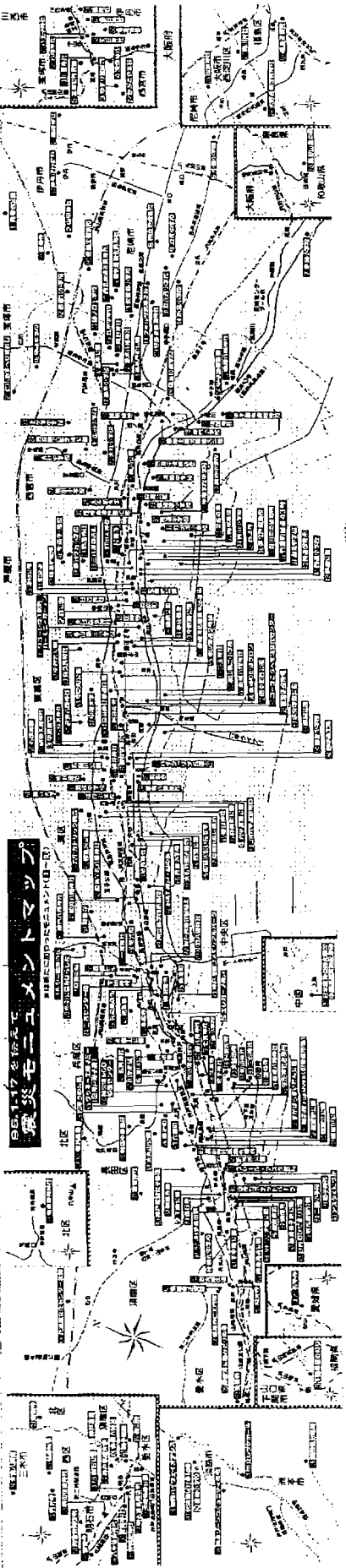
全国の623会場で 大学センター試験 混乱なくスタート

チャレンジしたい

大正製薬 痔に、ひと泡。 泡が、やさしく痔を消毒。

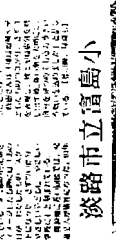
痔の消滅・出血・痛みに プリザグリーンエス

痔には、止まって、とどまる プリザエース



確かな歩みの道しるべ

淡路市立富島小
 淡路市立富島小学校は、震災後、児童の生活環境の整備と、地域住民の絆を深めるための活動を行っています。また、震災を教訓とし、防災意識の向上を図っています。



神戸市立飛松中
 神戸市立飛松中学校は、震災後の復興を支援するために、被災地への支援活動を行っています。また、震災を教訓とし、防災意識の向上を図っています。

未来に託す夢は消えぬ
 震災後の復興は、未来への希望を託すことでもあります。被災地の子供たちは、夢を諦めず、未来を築いていきます。

神戸被災レンガで
 震災で壊れた家屋の瓦礫からレンガが作られ、被災地への復興に役立てられています。

神戸避難先の公園
 震災後の避難生活の中で、子供たちが遊ぶ場所として公園が重要な役割を果たしています。

西宮市立田小
 西宮市立田原小学校は、震災後の復興を支援するために、被災地への支援活動を行っています。また、震災を教訓とし、防災意識の向上を図っています。



ぎつした分やさしく

阪神大震災11年、被災地への支援活動を行っています。被災地の子供たちに、希望と勇気を与えたいと思います。

学校教室

被災地の子供たちに、安全な学校教室を提供しています。復興を支援するための活動を行っています。

忘れないでも忘れてはいけない

震災の記憶を忘れないで、未来を築いていきます。被災地の子供たちに、希望と勇気を与えたいと思います。

毎日の就職情報

毎日の就職情報、求職者のための情報提供を行っています。被災地の子供たちに、希望と勇気を与えたいと思います。

自然素材のリフォーム

被災地の子供たちに、安全な学校教室を提供しています。復興を支援するための活動を行っています。

学校教室

被災地の子供たちに、安全な学校教室を提供しています。復興を支援するための活動を行っています。

毎日の就職情報

毎日の就職情報、求職者のための情報提供を行っています。被災地の子供たちに、希望と勇気を与えたいと思います。

忘れないでも忘れてはいけない

震災の記憶を忘れないで、未来を築いていきます。被災地の子供たちに、希望と勇気を与えたいと思います。

仮設仲間 ずっとお隣さん

「仮設住宅の仲間、ずっとお隣さん」。この言葉が、被災者同士をつなぐ絆を象徴している。仮設住宅に入居する被災者は、互いに支え合い、助け合い、共に生活していく。この「仮設仲間」の絆は、被災者の心をつなぎ、希望を育む重要な役割を果たしている。

仮設住宅に入居する被災者は、互いに支え合い、助け合い、共に生活していく。この「仮設仲間」の絆は、被災者の心をつなぎ、希望を育む重要な役割を果たしている。

仮設住宅に入居する被災者は、互いに支え合い、助け合い、共に生活していく。この「仮設仲間」の絆は、被災者の心をつなぎ、希望を育む重要な役割を果たしている。

グループ単位、応募OK

応募要項は、本誌の別冊「仮設住宅」に掲載されている。

阪神大震災被災地 シルバーの願い

「いつまでもいれたらいいのに」

仮設で終わるか「ケア付き」

「いつまでもいれたらいいのに」。被災地の高齢者は、仮設住宅で暮らすことに不安を感じている。彼らは、仮設住宅がいつまでも続くことを望んでいる。しかし、仮設住宅の運営には多くの課題がある。高齢者のケア、生活支援、コミュニティの形成など、多くの課題がある。仮設住宅が「ケア付き」の環境になることを望んでいる。



仮設住宅で暮らす高齢者の声。彼らは、仮設住宅がいつまでも続くことを望んでいる。しかし、仮設住宅の運営には多くの課題がある。高齢者のケア、生活支援、コミュニティの形成など、多くの課題がある。仮設住宅が「ケア付き」の環境になることを望んでいる。

入居前から意見交換

仮設住宅に入居する前に、被災者同士で意見交換を行う。これにより、仮設住宅の運営に意見を述べ、より良い環境を実現しようとしている。

仮設住宅に入居する前に、被災者同士で意見交換を行う。これにより、仮設住宅の運営に意見を述べ、より良い環境を実現しようとしている。

仮設住宅に入居する前に、被災者同士で意見交換を行う。これにより、仮設住宅の運営に意見を述べ、より良い環境を実現しようとしている。

仮設に広がる「共同生活」の輪

高齢障害者の住宅復興

見守りあう人ほし

お互い助け、安心感を

仮設住宅に広がる「共同生活」の輪。被災者同士が互いに助け合い、安心感を醸成している。高齢障害者の住宅復興も進んでいる。見守りあう人ほし、お互い助け、安心感を醸成している。

仮設住宅に広がる「共同生活」の輪。被災者同士が互いに助け合い、安心感を醸成している。高齢障害者の住宅復興も進んでいる。見守りあう人ほし、お互い助け、安心感を醸成している。

仮設住宅に広がる「共同生活」の輪。被災者同士が互いに助け合い、安心感を醸成している。高齢障害者の住宅復興も進んでいる。見守りあう人ほし、お互い助け、安心感を醸成している。

近畿新聞

第112号

阪神大震災

「阪神大震災」は、東日本大震災以来、最も被害の甚大な震災であった。死者・行方不明者は、約15万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。

自殺者

79歳女性のケース
遅れた自宅の修理
慣れない共同生活

「阪神大震災」は、東日本大震災以来、最も被害の甚大な震災であった。死者・行方不明者は、約15万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。

自設住宅の日々

「阪神大震災」は、東日本大震災以来、最も被害の甚大な震災であった。死者・行方不明者は、約15万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。

日	性別	年齢	住居	備考
11月1日	男	65	神戸市東灘区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月2日	女	72	神戸市中央区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月3日	男	58	神戸市東灘区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月4日	女	68	神戸市中央区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月5日	男	75	神戸市東灘区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月6日	女	60	神戸市中央区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月7日	男	70	神戸市東灘区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月8日	女	65	神戸市中央区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月9日	男	78	神戸市東灘区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月10日	女	62	神戸市中央区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月11日	男	73	神戸市東灘区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月12日	女	67	神戸市中央区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月13日	男	71	神戸市東灘区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月14日	女	64	神戸市中央区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月15日	男	76	神戸市東灘区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月16日	女	61	神戸市中央区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月17日	男	74	神戸市東灘区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月18日	女	66	神戸市中央区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月19日	男	72	神戸市東灘区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月20日	女	63	神戸市中央区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月21日	男	77	神戸市東灘区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月22日	女	69	神戸市中央区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月23日	男	75	神戸市東灘区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月24日	女	64	神戸市中央区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月25日	男	73	神戸市東灘区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月26日	女	67	神戸市中央区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月27日	男	71	神戸市東灘区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月28日	女	65	神戸市中央区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月29日	男	74	神戸市東灘区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居
11月30日	女	68	神戸市中央区	震災直後、自宅を焼失し、自設住宅に転居

「阪神大震災」は、東日本大震災以来、最も被害の甚大な震災であった。死者・行方不明者は、約15万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。

「阪神大震災」は、東日本大震災以来、最も被害の甚大な震災であった。死者・行方不明者は、約15万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。

遅れた自宅の修理 慣れない共同生活

「阪神大震災」は、東日本大震災以来、最も被害の甚大な震災であった。死者・行方不明者は、約15万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。

閉ざされた扉

「阪神大震災」は、東日本大震災以来、最も被害の甚大な震災であった。死者・行方不明者は、約15万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。

酒に逃避する働き盛り

「阪神大震災」は、東日本大震災以来、最も被害の甚大な震災であった。死者・行方不明者は、約15万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。

人見ぬ行政 対応遅く

「阪神大震災」は、東日本大震災以来、最も被害の甚大な震災であった。死者・行方不明者は、約15万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。

行政の「網」から漏れ

「阪神大震災」は、東日本大震災以来、最も被害の甚大な震災であった。死者・行方不明者は、約15万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。

閉ざされた扉

「阪神大震災」は、東日本大震災以来、最も被害の甚大な震災であった。死者・行方不明者は、約15万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。

酒に逃避する働き盛り

「阪神大震災」は、東日本大震災以来、最も被害の甚大な震災であった。死者・行方不明者は、約15万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。

閉ざされた扉

「阪神大震災」は、東日本大震災以来、最も被害の甚大な震災であった。死者・行方不明者は、約15万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。

行政の「網」から漏れ

「阪神大震災」は、東日本大震災以来、最も被害の甚大な震災であった。死者・行方不明者は、約15万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。

閉ざされた扉

「阪神大震災」は、東日本大震災以来、最も被害の甚大な震災であった。死者・行方不明者は、約15万人に達した。被災者は、約200万人に達した。被災者は、約200万人に達した。

震災をテーマにしたミュージカルを演じる神戸市立渚中の生徒たち



神戸・渚中

渚中は98年春、震災復興で作られた新都心に開校。地震で家や肉親を失い、復興住宅から通う生徒も多い。ミュージカルは音楽の選択教科で毎年取り組まれているが、震災10年を機に初めて震災に向き合った。タイトルは「両親への手紙」。震災で両親を失った少年が、家族全員を失いながらボランティア活動をしている幼なじみの友人と再会し、生きる希望を教えられるというストーリー。

劇は「たくさんの方々を支えられて今の私たちがいることを忘れないようにしたい。世界中の多くの方がいる。世界中の多くの思いを伝えたい」との生徒の言葉で締めくくられた。

ミュージカルで被災体験紹介

優秀賞3点

愛知県美浜町立布土小児童防災会は「いのちの学習」をテーマに活動を続けている。児童が創作した「お・は・し・ものうた」は、地元の保育園や家庭でも口ずさまれるヒットソングになった。

愛知・布土小

発表した永田理佐子さん(12)と伊藤実優さん(11)は、神戸の子どもたちが歌い継いでいる「しあわせ運べるように」を手話付きで披露。阪神大震災を体験した子どもたちの作文を読み、この歌を知った。手話をつけて繰り返し歌ううち、「神戸の人たちの思いや願いが伝わって

児童が歌を創作

きた」という。被災者の話を基にミュージカルも創作し、地域の祭りで発表。

学習を通して「人はみな支え合い助け合って生きている」「『命・助け合い・希望』という私たちの思いは、必ずみんなの心に伝わる」と知った。

生徒が耐震診断

宮城県松島町立松島中の柔道部1、2年生は昨年7月、学校裏の老朽化などをボランティアで調査。子どもたちが地域で活動することで、大人の防災意識も高まっている。

発表会で、生徒らは「筋交い」がある家屋が地震に強いことを模型を使って解説。生徒会長でグループリーダーでもある鹿野哲史君(14)は「これからも仲間を増やして地域の防災に貢献したい」と語った。

宮城・松島中



模型を使って耐震構造住宅の説明をする宮城県松島町立松島中の生徒たち

大人たちを

安全な街僕らが作る

子どもぼうさい甲子園

学校や地域で防災教育に取り組んでいる子どもたちを顕彰する「子どもぼうさい甲子園」(同実行委員会主催)の表彰式・発表会が今月8日、神戸市中央区のシーガルホールで行われた。「ぼうさい大賞」に輝いた千葉県市川市立大野小

校など11団体が表彰され、多彩な取り組みを発表。会場には、井戸敏三・兵庫県知事ら約3000人の聴衆が詰めかけた。

【中尾卓英、根本毅、大場弘行、写真・三村政司】

次世代を担う小中学生の防災教育の取り組みを募集。26都道府県の87学校・グループから、地域の課題に応じた応募があった。8人の審査委員(委員長、河田恵昭・人と防災未来センター長の選考で、ぼうさい大賞1点、優秀賞3点、入選5点、審査委員特別賞2点が選ばれた。

表彰式・発表会で、実行委員でもある伊藤芳明・毎日新聞大阪本社編集局長が「みなさんの取り組みは、大人には考えられない視点、アイデアにあふれている。子どもたちが考えたことを発信し、社会で役立てていきたい」とあいさつ。阪神大震災を題材にしたNHK連続テレビ小説「わかば」の主演女優、原田夏希さんも駆けつけ、賞状と副賞を手渡した。

発表会で、受賞校の代表の子どもたちが取

「減災文化」創造 訴え

「減災文化」を創造していくことが強く求められている。

子どもたちの防災意識を高めることは、将来の災害に対する最大の「備え」だ。子どもたちの自主性、独創性あふれる取り組みから「減災文化」を創造していくことが強く求められている。

組み内容を披露歌や劇、紙芝居などを通じて、命の大切さや助け合ふ心を訴えた。震災で生まれた歌「しあわせ運べるように」を歌詞作曲した日井真さんの指揮で合唱。会場は感動の渦に包まれた。

スマトラ沖大地震、新潟県中越地震など国内外で自然災害が相次いでいる。実行委員の村井雅清・CODE海外災害援助市民センター理事は、スマトラ沖大地震の被災地・スリランカの現地報告をし、防災教育を伝えることの大切さを話した。

子どもたちの防災意識を高めることは、将来の災害に対する最大の「備え」だ。子どもたちの自主性、独創性あふれる取り組みから「減災文化」を創造していくことが強く求められている。

ぼうさい大賞に千葉・大野小
千葉県市川市立大野小 早川ひとみさん(11)は、6年の國安海人君(11)と クラスを「地震防災研究

所」と名付けてナマズを飼うなど、楽しみながら取り組んだ2年間の成果を発表した。

教室が「研究所」

心はぐんと高まった。

電気もガスもない調理訓練では防災ずきんを逆さにかぶり、担任の吉野実智で空き缶や竹筒などを米を炊いた。学校に泊



「子どもぼうさい甲子園」でぼうさい大賞を受賞、発表する千葉県市川市立大野小の児童ら＝神戸市中央区のシーガルホールで8日

【ぼうさい大賞】
千葉県市川市立大野小
学校トレビアン6年1組
楽しみながら地域に防災研究を伝える「地震防災研究所」

【優秀賞】
宮城県松島町立松島中学校・防災学習グループきんとうん
簡易耐震診断で地域の人々の命を救う▽愛知県美浜町立布土小学校児童防災会 「お・は・し・も」の思い、地域に発信▽神戸市立清中学校 震災をテーマにした創作ミュージカル

【入選】
福島県北塩原村立裏磐梯中学校 雪降ろしでホランティア精神を培う▽愛知県豊橋市立蓮田小学校 地域防災の要、子ども新聞▽兵庫県芦屋市立

入賞校一覧

共催 毎日新聞社、人と防災未来センター、NPO法人「CODE海外災害援助市民センター」
後援 内閣府、総務省消防庁、国土交通省、文部科学省、兵庫県、神戸市、神戸市教育委員会

精進小学校 震災の追悼式を自分の手で▽和歌山県田辺市立新庄中学校 9教科で学ぶ究極の防災学習▽徳島県半田町立半田中学校 防災の「ケンチの森」▽

【審査委員特別賞】
兵庫県猪名川町立白金小学校 国境を超えた助け合いの心▽愛媛県西条市立小松小学校 役立っ地震対策 知恵集
主催 子どもぼうさい甲子園実行委員会

い」と怒るほど。ところが約10日後、阪神大震災の被害を収録したビデオを見て子どもたちの態度は一変。積極的に防災に取り組みようになった。

街頭で主婦ら457人にアンケートすると、地震後に生き残る自信がある」と答えたのは39%だけ。早川さんは「大人たちを驚かすのが私たちの仕事」といそがしに決心したという。さらに、教室のナマズが水槽を飛びはねた10日後、北海道で十勝沖地震が発生。防災への関心が高まった。

「心はぐんと高まった。電気もガスもない調理訓練では防災ずきんを逆さにかぶり、担任の吉野実智で空き缶や竹筒などを米を炊いた。学校に泊まり込んだ冬の避難所体験は、寒さとの闘い。新聞紙で作った防寒着でいた。6年生になってからは地震に強い町」と、「ためになる防災だより」を月一回発行。青春と友情をテーマにした地震劇も作った。

國安君は「防災教育を学んだおかげで、非常時に持ち出せる袋を家を用意するように。日本中の人に地震の怖さを知ってもらえるよう活動を進めたい」と発表を締めくくった。

私たちの仕事



所得・年齢・使途



新田中建設 住宅再建支援策

色澤7の築れて新築した家屋一棟 湖原川河口町田原山地区で2日、本

住宅再建支援策のまとめ

世帯収入	支援額	返済条件
年収500万円以下	500万円	返済期間10年以内
年収500万円以上1000万円未満	1000万円	返済期間10年以内
年収1000万円以上1500万円未満	1500万円	返済期間10年以内
年収1500万円以上2000万円未満	2000万円	返済期間10年以内
年収2000万円以上	2500万円	返済期間10年以内

※上記は貸付補助(低金利)と併用の支援策を上限(低金利貸付入居しない)。下回りは被災生活再建支援金(被災者生活再建支援法)の活用による。被災者生活再建支援金は、被災者生活再建支援法に基づき、被災者生活再建支援センターを通じて貸付される。被災者生活再建支援センターは、被災者生活再建支援法に基づき、被災者生活再建支援センターを通じて貸付される。被災者生活再建支援センターは、被災者生活再建支援法に基づき、被災者生活再建支援センターを通じて貸付される。

ハードル 課題に

国プラス県全壊最高400万円

被災者生活再建支援法に基づき、被災者生活再建支援センターを通じて貸付される。被災者生活再建支援センターは、被災者生活再建支援法に基づき、被災者生活再建支援センターを通じて貸付される。

弾力的運用進むが

被災者生活再建支援法に基づき、被災者生活再建支援センターを通じて貸付される。被災者生活再建支援センターは、被災者生活再建支援法に基づき、被災者生活再建支援センターを通じて貸付される。

法律見直し論議これから

被災者生活再建支援法に基づき、被災者生活再建支援センターを通じて貸付される。被災者生活再建支援センターは、被災者生活再建支援法に基づき、被災者生活再建支援センターを通じて貸付される。



静岡 石川嘉延知事

被災者生活再建支援法に基づき、被災者生活再建支援センターを通じて貸付される。被災者生活再建支援センターは、被災者生活再建支援法に基づき、被災者生活再建支援センターを通じて貸付される。

どうする被災 本体への



兵庫 井戸敏三知事

被災者生活再建支援法に基づき、被災者生活再建支援センターを通じて貸付される。被災者生活再建支援センターは、被災者生活再建支援法に基づき、被災者生活再建支援センターを通じて貸付される。

被災者生活再建支援法に基づき、被災者生活再建支援センターを通じて貸付される。被災者生活再建支援センターは、被災者生活再建支援法に基づき、被災者生活再建支援センターを通じて貸付される。



被災者支援法が成立

「阪神」に同等措置

衆院本会議
最高100万円年内にも支給

【東京14日時事通信】被災者生活再建支援法が、14日午の衆院本会議で成立した。阪神・淡路大震災に被災した被災者に対し、前年度末までの時点で、被災者生活再建支援法に基づく支援金の支給対象となる被災者に対し、最高100万円以内の支援金を、年内にも支給する。また、被災者の生活再建を支援するため、被災者の生活再建を支援するための支援金の支給対象となる被災者に対し、最高100万円以内の支援金を、年内にも支給する。

大きな一歩だが...

【東京14日時事通信】被災者生活再建支援法が、14日午の衆院本会議で成立した。阪神・淡路大震災に被災した被災者に対し、前年度末までの時点で、被災者生活再建支援法に基づく支援金の支給対象となる被災者に対し、最高100万円以内の支援金を、年内にも支給する。また、被災者の生活再建を支援するため、被災者の生活再建を支援するための支援金の支給対象となる被災者に対し、最高100万円以内の支援金を、年内にも支給する。

被災者住宅再建支援制度の政府案

- 全世帯が白を同様、新築=200万円
- 損壊の激しい半壊世帯が白を新築=100万円
- 全半壊世帯が黒口宅(公営を除く)に入居=50万円

紙上座談会

紙上座談会
被災者生活再建支援法の政府案について、関係者から意見を募集します。

住宅再建支援制度が成立

住宅再建支援制度が成立
被災者生活再建支援法の成立により、被災者の生活再建が促進される見込みです。

「一歩だ」ゼロのめし
被災者生活再建支援法の成立は、被災者の生活再建にとって大きな一歩です。しかし、ゼロのめしというように、まだ多くの課題が残っています。被災者生活再建支援法の成立により、被災者の生活再建が促進される見込みです。

被災者住宅再建支援制度 支給目指す

被災者生活再建支援法の成立により、被災者の生活再建が促進される見込みです。被災者生活再建支援法の成立により、被災者の生活再建が促進される見込みです。

被災者生活再建支援法の成立により、被災者の生活再建が促進される見込みです。被災者生活再建支援法の成立により、被災者の生活再建が促進される見込みです。

「つぶさない」が大事
被災者生活再建支援法の成立により、被災者の生活再建が促進される見込みです。被災者生活再建支援法の成立により、被災者の生活再建が促進される見込みです。

鳥取 片山善博知事



あす施行

被災者生活再建支援法に基づく支援金の支給対象となる被災者	支援金の額	支給の時期
全世帯が白を同様、新築=200万円	200万円	年内にも
損壊の激しい半壊世帯が白を新築=100万円	100万円	年内にも
全半壊世帯が黒口宅(公営を除く)に入居=50万円	50万円	年内にも

倒壊「ゼロ」へ診断、改築 公共事業で災害に強い街

倒壊「ゼロ」へ診断、改築 公共事業で災害に強い街
被災者生活再建支援法の成立により、被災者の生活再建が促進される見込みです。被災者生活再建支援法の成立により、被災者の生活再建が促進される見込みです。